

大井町立幼稚園・学校のあり方検討委員会会議(第3回) 会議録

日 時 令和3年6月10日(木) 19時00分～20時30分
場 所 大井町生涯学習センター2階 会議室
出席委員 委員長：中條政夫(教育委員代表)、副委員長：布施好美(小中学校長代表)
篠原裕和(相和幼稚園PTA代表)、栗田めぐみ(大井幼稚園PTA代表)、
琴浦 大(大井小学校PTA代表)、鈴木裕也(相和小学校PTA代表)、
植竹 豊(上大井小学校PTA代表) 鈴木都伺(金田地区代表自治会長)、
門松 勉(曾我地区代表自治会長)、古谷文好(相和地区代表自治会長)、
清水亜樹(町議会議員代表)、早野一郎(幼稚園長代表)、
富岡洋文(大井保育園長)
事 務 局 夏苺一壽教育長、石井浩二参事兼教育総務課長、矢吹高広子育て健康課長
山崎好之教育総務課副課長

会議内容

- 1 開会 石井参事兼教育総務課長から開会の宣言をする。
- 2 委嘱状交付 机上交付
- 3 委員紹介 自己紹介
- 4 副委員長選出 立候補者なしのため、事務局案である布施好美校長(小中学校長代表)に万丈一致で決定
- 5 委員長あいさつ 中條委員長あいさつ
- 6 議題

(委員長)

議題につきましては、お手元の資料の次第にありますように4点です。
お手元の次第の議題に沿って進めさせていただきます。
議題1、事務局からの報告です。お願いします。

(1) 事務局からの報告

まず山崎教育総務課副課長が説明する。

【要 旨】

年度が改まり委員7名が交代したこと、前年度都合で出席できなかった委員がいることから、確認のため、検討会議開催に至った経緯(①平成26・27年度に「相和

地区の園・学校のあり方」について検討し、新たな園・学校運営を実施してから6年が経過したため、検証をする必要があること。②町立幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒数や学級数が年々減少している中、今後さらに少子化が進む実情を踏まえ、大井町立幼稚園・学校の今後のあり方を検討する必要があること。)と、各幼稚園・学校の現状及び第1回、第2回会議で話題となった内容を、参考資料1～6をもとに説明する。

次に、矢吹子育て健康課長が説明する。

【要 旨】

参考資料7に基づいて説明する。

- ①就学前人口の過去3年間の推移を見るとやや減少傾向にある。
- ②保育所等の入所状況は、過去3年を比べると増加傾向にあり、今後保育園のニーズが多くなると推測している。
- ③利用率については、ほぼ2歳から半分近くが利用している状況にある。
- ④町内転入者は継続入所がほとんどのため、ほぼ管外の入所者である。
- ⑤待機児童数は、4月1日時点4名、昨年度の14名から大きく減少
- ⑥近隣市町の状況

〈補足〉○栄光愛児園に建て替えの計画があり、定員を増やす方向である。

○町内に新たに民間事業所(こども園)2年後(予定)の開園に向けて準備中である。

(委員長)

改めまして、最初に教育委員会の報告についての質問をお受けしたいと思います。いかがでしょうか。特にはよろしいでしょうか。

次に、子育て健康課の報告につきまして御質問等がございましたらお願いします。いかがでしょうか。特によろしいでしょうか。もし質問等がございましたら、遠慮なくこれからの協議の中で質問していただけたらと思います。

(2) 大井町立幼稚園のあり方について

(委員長)

議題の2大井町立幼稚園のあり方について進めていきたいと思います。

大井町立幼稚園のあり方ですが、相和幼稚園のあり方と3園のあり方の二つに分けて進めたいと思います。

最初に、相和幼稚園のあり方について御議論いただきたいわけですが、第1回、第2回、昨年度も委員の皆様からたくさんの御意見をいただき、山崎副課長から報告いただきました。御手元にも第1回、第2回の主な意見としてまとめられてはいますけれども、会のメンバーも大きく替わったということもありますので、是非改めて様々な角度・視点から忌憚のない御意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

(委員長)

相和幼稚園も今までさまざまな取組をしてきたわけですが、御意見を伺うと、取組よりもむしろ相和幼稚園がもっている良さ、少人数であることも含め、相和幼稚園の環境の良さに魅力を感じているという御意見も多かったように思います。

(委員)

初めて今回参加させていただきまして、過去の資料についても目を通したのですが、相和の幼稚園と小学校に関しまして、相和小学校に幼稚園を一緒にするということはできないのでしょうか。いわゆる施設を一つのものにして、かつて集団登校や集団下校があったように、そのエリアの子どもたちを、送迎バスで送り迎えするなどの手立てをすることで、いわゆる建物を一つにすることで有意義に使えるのではないかと思います。

施設の老朽化とかいう問題があるのであれば、空いた施設は民間に貸し出すとかという方法もあるのではないかと。小学校のグラウンドはそれなりの広さもあるので、小学校と小学校を統合するのではなくて、縦のものを統合するようなアイデアも良いかと思いました。

いろんな意見を出してください、ということなので思ったことを述べさせていただきました。

(委員長)

ありがとうございます。小学校の中に幼稚園を設置するというので、送迎等もメリットが出てくるというわけですね。

(委員)

給食等も同じ施設を使えるのではないかと。自分たちも小学校の中に幼稚園があったので、昔に戻るようなイメージですがそれも良いのではないかと思います。

(委員長)

新しい視点でたくさん御意見を出していただけるとこの会議も活性化していくのではないかと思いますので、ほかの委員の方々いかがでしょうか。

(委員)

唐突に申し訳ありませんが、相和幼稚園の方も来ていただけますよね。他の保護者の方で、このような話が出ていることは当然承知していると思うのですが、残す、いや大きい方がよいなど、保護者の方は、どのように考え、話題にしていられるのでしょうか。

どちらにしても統合するかどうかにしても、自分は他地区で相和地区から離れているので、大きなことは言えないのですが、当事者の方たちがどう今どのようなことを思っているかが一番重要だと思います。

幼稚園や小学校がなくなると、火が消えたようになるというのはいろいろな地区

でよく聞くことですが、今現在の保護者の方たちの考えを聞くのがやはり一番重要だと思います。もちろん、意見は分かれると思います。100パーセントゴーというのではないのではないかと思います。話に出たことはございますか。

(委員)

私として、ほかの保護者に意見をまとめてくれとか言ったことはないので、総意がどうか、ということはわからないですけれども。

(委員)

そうではなく雑談の中でよいです。

(委員)

保護者としては、残してほしいというのが正直なところですね。利便性を考えれば近くにある方が当然便利ですから。でも、それだけを言っていてよいのか、ということはそれぞれがわかっていることですので、いつかなくなっちゃうだろうねとか、雑談の中では出ています。

(委員)

はい。もう一点いいですか。先ほどのこども園は令和5年ぐらいにできるということですか、方向性としては。

(事務局)

はい。まだ確実ではないのですが、ここで、民間の事業者から提案がありました。これは県の認可なので、手続きに時間がかかるということで、スムーズにいつか2年後、現状では希望としてはこども園ということで、これから県に事前の相談をして調整をしながら進めていくということになります。

(委員)

そうすると、前の意見の中で、こども園云々という話が出ていましたよね。そうすると必然的に一つ民間ができてくれば、そこにある部分のこどもたちが集まるということを考えなければならないのですよね。そうすると相和幼稚園をこども園に、ということが難しくなってくるということも出てくるということは考えなければならないのかという気がします。私もこども園のことは中身を100パーセント掘っていないのでわからないのですが。

(委員長)

こども園の規模などもまだわからないのですよね。

(事務局)

まだ、わかりません。

(教育長)

すみません、補足で説明させてください。これまで2回の会議の中ではこの話が出てきませんでした。ここでそういった民間の事業者の声かけがあったという状況で、決定ではなく、そういった方向に進んでいるということであって、県で必ず認可されるとは限らないので、かなり不透明なところがあるということは承知していただきたいと思います。ただ具体的などころではだいぶ積極的に考えていられるようなので、実はこれまでも民間には声をかけていろいろな活動をしてきたのですが、今回はより具体的、現実的になる可能性は大きいかという状況です。まだ明らかにはなっていませんけれど、仮にそれができたとしたら、これまでの町立3幼稚園・1保育園等を踏まえた中での論理とは若干ずれてくるのが考えられるものですから、今回未確定ではありますが紹介させていただきました。

今後の状況の中で、次回はより具体的になってくるかと思うので、そこで最終的に意見を修正していただくという流れで作業していただければありがたいです。

(委員長)

ということで、民間のことについては、可能性もあるけれどまだ決定ではないということで御理解いただいて、大井町の子どもたちの受け皿になることは間違いなしでしょうから、そのあたりのことを踏まえて、3園と相和幼稚園のあり方について、是非もう少し御意見をいただきたいと思います。

(委員)

相和幼稚園のあり方というよりも、幼稚園・保育園ということの今のお話だと思いますので、町立の保育園の園長をしております関係で、今までも意見を言わせていただきましたし、今日もそういう中での意見になります。

乳幼児の部分の資料を見ると現状として言えることは、幼稚園の人数が減ってきているということ、そして保育園については若干の待機児童がいながら現状に加えて今後のニーズは高まってくるであろうというのが現状認識かと思っています。

ここで新しい情報として民間の話題、栄光愛児園さんがプラス20ということ前回は話題に出ていませんでしたので、その2点が新たに今回加わった状況かと。

結論から言いますと、町内の中に、幼稚園があり保育園があり、もしかしたらという中のこども園があって、さらに公立か民間かという、いろいろな選択肢ができることは、結果として保護者がふさわしい場所を選べるということは、基本的な考えとしてとても良いのではないかと思います。個人的には現状の大井町立保育園と栄光愛児園さんがあって、それにもう一つ別の保育園を思ったりしています。世の中の流れとしてなんとなくこども園への移行がすごいスピードではありませんが、増えつつありますし、現に町長さんも町政の中で考えると、(前回)町長選で三人が競われる中で、こども園等の設置を公約としてあげていたように思います。町政全般の中のある部分でしかないのですが、すべて民意とは言えないかとは思っています。現にその中で町政があるわけで、それを民意ととらえるのならば、こども園的なものが入ってき

ても良いのではないかと思います。うまくいけば、そこに民間が入ってこられる、お金のことがついて回りますから、プラス面になっていくのかと思います。どうしても私たちはお金の問題はよくわからないので、お金の問題は抜きで話をしているわけですが、お金の問題さえクリアできるのであれば、相和幼稚園も含めて、先ほど話題に出ていましたが表現が適切かどうかわかりませんが、田舎的な小学校、田舎的な幼稚園もあり、幼稚園、保育園もあり、それだけ数があってやっていくことが可能であれば、選択肢が多いことは良いと思います。現実的にはお金の問題が出てきますから、それなりに整理をしなければならない現実問題が出てくるのだと思います。

繰り返しになりますが、個人的には、こども園を含めていくつかの選択肢が増えることは良いことと思います。

(委員長)

ありがとうございました。ほかの委員の方いかがでしょうか。

今、三園のことを踏まえて御意見をいただきましたので、皆様も相和幼稚園だけに限らず、保育園、三園を見据えた中で御意見を出していただいて結構です。

先ほどの資料を見ても、園児数は間違いなく減少していくということ、教育委員会の報告にもありましたように、保育料の無償化に伴って、公立だと町が保育料を負担しなければならないという町予算の負担増の問題も絡んでくるかと思っています。

(委員)

追加でもう一つよいですか。

こども園のお話をさせていただいたのですが、もしその方向に進むのであれば、民間の方がやろうということに進んでいるならば、構想があつていろいろな準備をされていると思いますが、今までそういう話がなかったもので、現有の保育園、幼稚園がくっついてこども園にという形で考えてきましたので、保育園も幼稚園も知っている中で考えると、いろいろな課題や懸念があることは間違いありません。もしその方向で進むのであれば、近隣のすでに取組を進めているところの情報を集めながら、事前に懸念や課題を排除していく準備が必要かと思っています。

こども園を町でとなると、今まで経験がありませんので、十分に情報を得て対応していく必要があると思います。

(委員長)

ありがとうございました。

近隣でやっているところはありますか。

私は箱根にいましたから、2園でやっていますが。

(事務局)

もう何年前になりますが、秦野の認定こども園に視察という形で、子育て健康課とともに視察させていただいたことはあります。話の中では、メリットもデメリットもあることは聞きました。視察した秦野のこども園は公立だったかと思っています。

公立の認定こども園を視野に入れて検討するとなると、場所の問題もありますし、公立でやっていく場合、一番大きいのは国の支援がありませんので、ほぼほぼ自腹で運営しなければなりませんから、そういったところも勘案しながら検討を進める必要があると思います。

(委員長)

今後そのこども園を見据えて検討していくのであれば、近隣の情報を得てもっと細かいところまで考えて準備する必要があることを知ることができました。

ほかにいかがでしょうか。

不確定ですけれども、民間の受け皿ができてくると、先程来あった待機児童解消にも役に立つと思います。

特に幼稚園、保育園の関係はよろしいですか。また意見がございましたら後で出させていただきたくということで、議題2については、ここで一区切りとしたいと思います。

(3) 大井町立小学校・中学校のあり方について

(委員長)

では、議題3、大井町立小学校・中学校のあり方について、協議を進めていきたいと思います。こちら最初相和小学校のあり方についてご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。

(委員)

今回初めて参加させていただくのですが、御意見を聞いていると少子高齢化の波を受けて、園児数や児童数が減ってきて、これから幼稚園、小学校をどうしていくのだろう、というのが一番の論点だと思いますが、参考資料6の3校それぞれ力を入れているところで、小学校選択制はよいな、と思いました。小学校を経て湘光中学校で一緒になるわけで、3校それぞれの特色をもう少し簡素化したらどうか、と思います。

相和小学校で言うならば、小規模特認校制度とか ICT 教育とか、放課後教室とかは、保護者の方が聞いたときにすぐに理解しにくい言葉です。相和小学校のところを掘り下げると、相和小学校に入学した場合、運動会では競技をするときに1レーンごとに名前を紹介されますよとか、一輪車や竹馬に乗れるようになりますよとか、一番いいのは、1年生から6年生までを縦割りの班にして異学年交流ができて、きらきら遠足とかの中で、上級生が下級生の面倒を見るような活動で、思いやりのある子どもが育ちますよとか、もう少しかみ砕いた言い方で3校の特色を保護者にアピールすればよいかなと思います。相和小学校はいいな、と直感的に思う保護者もいるかもしれないので、そのような簡素化した説明をする方が、幅が広がって良いかなと思います。

(委員長)

ありがとうございました。言葉の問題ではなくて、もう少しシンプルな言い方がよいのかな、ということですね。

ほかにいかがでしょうか。

はい、お願いいたします。

(委員)

前回も議会としてではなく、一個人として意見を言わせてもらって、極力可能な限り相和小学校は残せたら、という意見をさせていただきました。

相和小学校の卒業生で、今も相和小学校に深く関わっていられるということで、なんとか相和小学校は存続させた方がよいというほかのお考えがあれば伺いたいです。

(委員)

やはり相和小学校は存続させたいという思いはあります。卒業生ですから、学校がなくなってしまうのは寂しいです。

(委員)

教育委員会の方に伺いたいのですが、相和小学校を除いた、大井小学校、上大井小学校の2校で、不登校のお子さんは何人くらいいらっしゃるのですか。全体で何人いるか、教えていただくことはできますか。

もしいらっしゃるならば…あるエリアでは、そういう子どもたちを集めて、学校として人を増やす取組をしているある島だったと思うのですが。以前見た気がするのですが。

人が少なくなっていくのならば、人の減少を止める取組を即やったところですが止まらないので、もっと長い目で、小田原とか他のエリアに声をかけてそのような取組をしても良いのではないかと思うのですが。

(教育長)

不登校の児童はいます。人数については今手元に資料がないのでお伝えできないのですが、不登校という言葉でくくるならば、長欠など様々な要因でいることはお話しさせていただきます。そういったお子さんを対象として学校を運営するという方法もあろうかと思えます。実際子どもの数が少なくて、地域に学校をというところでは存続の方策についてはいろいろございます。特に県外での取組事例もあり、教育委員会に全国から案内が来ていることも事実です。

相和小学校においては、町内全体から希望があれば相和小学校に通うことができる、小規模特認校制度を平成28年度から始めました。全国的なエリアで児童を集めるのではなく、町内のお子さんを対象として、希望があれば相和小学校に入学できる、といった制度を実施しているということです。相和幼稚園についても、相和地区のお子さん以上に大井小学校や上大井小学校区のお子さんが多く通っているとい

うことは先ほど資料でお示したところでは。

いわゆる学校選択制というのは一時期流行した取組でして、小規模校特認校制度もその一つです。いわゆる町としては仕掛けをして取り組んだところですが、保護者は実際そういったところにはあまり魅力を感じてはいただけませんでした。小規模の学校に通わせたいとか、相和地区の環境に魅力を感じて通わせたいというのが主な理由でした。もちろん、ICTの関係だとか、放課後教室だとかを理由としてあげられた方もいらっしゃいましたが、それ以上に、今お話ししたことを保護者の方はおっしゃっていました。

それからもう一つは、コミュニティの関係で、大井町はまだ良い意味で田舎だなあ、と感じたことは、地元というか自分の住んでいるところの学校を大事にされたり、人との繋がりを大切にしたり地域との関係を大事にしていってほしいと感じたところではあります。都会だと、選択制をかなり積極的に推進しているところもありますが、まだ大井町には根付かないように感じます。

町外まで広げて取り組むことも一つの方法かとは思いますが、現時点ではそのようなどころです。

(委員長)

よろしいですか。

いろいろなアイデアを出していただいて、ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。

(委員)

今の話とかぶる部分があるのですが、私は1回目から参加させていただいており、そのときから言っているのですが、幼稚園や小学校のあり方を検討しているのですから、子どもたちが最高の学びを得られるようなことを考えてもらいたいと話してきました。

地域の力は大切だと思っております、地域の方が子どもたちを育てるところは必ずあるのだらうと思っております。他地区から人が入ってくことで、良い面がある一方で地域の力が弱くなることもあるし、それでうまく回らないのであれば、私は学校を存続させる意味がないと思っております。

私は相和にいて相和幼稚園を残してほしいと思っておりますが、それによって子どもたちが学ぶうえで良い場所でなくなるのであれば、相和幼稚園がなくなってもいいかなと思っております。気持ちとしては残したいと思っております。小学校も。それがトータルでうまく回らないのであればやめた方がよいのでは。そのために、子どもたちが学ぶためにどうしたらよいかをここで話したら良いのではないかと考えていますので、ほかのところから人を入れて、人数だけ増やせば良いというのはこの会議にふさわしくないのではないかと考えています。

(委員)

相和らしさをうたっていますが、「らしさ」とは、自然があつてどうのこうの…だ

けなのか、そうではなくて、もっと、もう少し小学校に特色をもたせるための「らしさ」があってもよいのではないかと思うのです。

そういった意味もあって、不登校の方という特定の聞き方をしたのですが、どこでも学校を選べるのであれば、エリア内だけでなく、もう少しエリアを広げてよいのではないかと。相和らしさというのであれば、そのような形の相和らしさを出しても一つの案として、良いのではないかと思ってお話ししました。

小さい子にとっては、そんなことを自分たちで判断するのはちょっと重いのではないか。やはり大人が判断して進めるべきであると思います。

(委員)

もちろんそうですね。

具体的な話になりますが、先ほど教育長さんがおっしゃったように、相和小学校は大井町のいろいろな地域から児童が来ていて、今半数近い状態になっています。その子たちは、もともといた我々とはやはり少し考え方が違う部分があって、うまくなじめないでいて、その子たちがなじめないからぎくしゃくしてしまう状況がやはりあります。幼稚園でもなじめなくてずっと泣いている子がいて、そういう子が増えたら、周りの子どもたちにもあまり良い影響ではないので、その子も周りの子も可哀想です。その子もそうになったら学びはどうなるのかということが増えてしまう。そういうことを想定したうえで、県外から呼ぼうという話をしなければならぬわけで、その辺が単純に人数が増えればよい、良いアイデアだというわけではないという意図で言わせてもらいました。

(委員長)

ありがとうございます。

そのほかの視点でいかがでしょうか。

(委員)

大井小学校ですが、ICT教育が今一番進んでいるのは相和小学校ですよ。大井小学校や上大井小学校は同じようなことができるのはいつになるのか。ICT教育も中途半端な気がして、デジタル教科書も国の肝いりでやっているはずなのになかなか進んでいない状況で、中学校3年生のときにはそういうことができるのかな、と思います。中学校から高校へと進むわけですが、ICT教育があるということはICTテストも出てくるのだろうかとか。今後の教育現場がどのようになっていくのか、興味があります。先生たちはどのような勉強をしているのかもです。

(教育長)

御指摘のICTですが、一人一台端末になったということで、小学校・中学校すべて同じ状況です。ある意味相和小学校が進んでいるということではない、ということをお理解ください。これまでの取組は機材の提供によってそれを活用した授業を構成してきたということで先進的にやっていただいていたことは確かですし、活用の

ノウハウを持っていることも今も変わりありません。そういった意味で活用の仕方は他の学校に比べれば違うというところです。

それに向けてこれまでも計画的に、たとえば教師が使い方を学ばなければならぬために教師用のタブレットを用意し、その後子どもたちのタブレットを、ということで、大井小学校・上大井小学校と順番に導入しています。GIGAスクールができたことによって、一人一台端末がより充実してきたということです。

先生の指導については、当然関心の高い方は今までも授業の中で、自分でタブレットを使って行ってきていますし、そういった違いがあることは実態として御指摘のとおりです。

そういった意味での船頭役は、相和小学校の取組が非常に参考になると思います。大井小学校の先生が不得手な人ばかりかというところはないと思います。かなり積極的に取り組んでいたり、昨年度導入されたものを使っていたりという状況もあります。

デジタル教科書については、国もまだ検証中でございます。話題になってはいますが、従来の紙媒体の教科書とデジタル教科書をどうしていくのか議論されている状況です。今の傾向では、併用の方向になるかと個人的には思っているところです。

無償化という中で、お金が絡んできますから、文科省だけでなく財務省との関係がありますから、もうこれは国レベルの話です。しかしながら文科省は進めていきたい意向です。

現在文科省ではデジタル教科書実証事業を行っておりまして、今年度、大井町でも小学校では5・6年生に一部の教科ですが、中学校も数学科で、デジタル教科書を導入することになりました。学校で使った状況を報告することになっています。まだまだ「ing」もしくは未来形ということで御理解いただければと思います。

(委員長)

よろしいでしょうか。

(委員)

先ほど相和地区の代表保護者お二人の御意見を伺って、相和の良さがとてもよくわかります。私も少なからず相和小学校に関わりましたので、本当にそういう意味では相和小学校がとてもいい学校であることはわかっています。それは大井小や上大井小にもそれぞれの良さがあるというのが前提ですが。

これまではという部分の中である程度人数が少ないながら保ってきた。先ほどの事務局の報告の中に、特認校になって、それは増えているけれども全体としては減少傾向である。やはりそろそろ限界に来ているのかと思われれます。そのあたりを踏み込んで考えなければならない時期かと思えます。

教育の意味について今までも話してきましたが、教育が主とは言いながら、利便性は目の前にある現実には何とかしなければならない実態であり、親も子も同じだと思います。町としてどれだけ保障していけるのか、それは大きな課題であるかと思えます。

(委員長)

児童数の減少を考えたら、将来的にいつになるかはわかりませんが、再編等も考えなければならないということですね。

(委員)

I C Tだと場所は関係なくなりますね。どこでも同じことができるようになってくるとのことですね。要は、今まで学校に行きましょう、と言っていましたが、今回のコロナがそうであるように、大人が率先してやってきたように、Z o o mを使って教育するとか、そんな学習が一般的になり始めるかもしれない。

逆を言うと、相和は普通ではできないことをできるのではないか。普通ではできないことをもっとやれるとか、もっともっとP Rしてもよいのではないか。

秦野の上小学校はどんどん児童数が増えています。人数が結構多かったり、厚木からも来ていたり、ということもあるようです。基本的には義務教育なので、同じように学んでほしいというのが一番で、学びはいろいろあると思いますが、それが進んでもらえればよいかなと思います。どこまで大人が真剣にガツガツできるかということかと思えます。もう時代遅れかもしれません。「学区」や「学校」は一昔前のことになりつつあるのかもしれません。ここ1年で世の中だいぶ変わりましたから。そんな気がします。

(委員長)

ありがとうございました。

そのほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは御意見も出尽くしたようですので、議題3につきましてはここまでしたいと思います。

(4) その他

(委員長)

議題4、その他に入りたいと思います。委員の皆様から何かございますか。事務局からはいかがでしょうか。

(委員)

聞きにくいことですが、保育料の無償化による町の負担は、実際どのくらい増えているか、概算でよいのでわかりますか。もしここで出なかったら次回で結構です。

(事務局)

基本的な考え方としては、手元に予算書があればよいのですが、ないので言えませんが、国のスタンスとしては、無償化といっても、基本的には公立で持っている場合は、自分でやっていることなので、自分たちで負担しなさいというスタンスです。

民間の認定こども園など、民間に対しては、国が半分負担しましょう。県と町で四

分の一ずつ出しましょうとかなりますので。予算上だと、私立と公立で四分の一出せば済むのか、全額負担するのか、そういう差はあります。議会でも他市の例を挙げて、公立でずっと続けていくことで負担をし続けていくのか、民間の活力を入れることで費用は最小限に抑えつつそれなりのものを継続していくのか、という話も出ておりますので。最大限負担が、となると私立は補助という形で出せる、公立で、となるとほぼほぼすべてを自腹で持たなければならないということになるので、負担は私立と公立の差が大きい。

保育料でいくと、三歳以上は無料ですが、無償化については基本的にそれぞれの市町村で負担になるので、そこが大きく違うところです。

(委員)

無償化になった部分の、今まで収入があったわけですね。保護者から。そのなくなった部分はどのくらいの金額ですか。今まで出していた部分プラス係った部分、アウトで良いので、次回で良いのでそこをちょっと教えていただきたいです。

(事務局)

3歳から5歳が保育料無料になりました。はっきりとした比較ではありませんが、年度で普通にもらっていたときは、保育料2,000万円ぐらい、保育料が無償化になった年から600万円、ざっと1,500万円弱減っている状況です。

(事務局)

幼稚園もほぼ、ざっと計算すると、1,000万円強です。

(委員長)

よろしいですか。

事務局から何かありますか。

それではないようなので、以上で議事をすべて終了いたします。

議長の任を解かせていただきます。御協力ありがとうございました。

これからは事務局の方で進行をよろしくお願いします。

7 その他

(事務局)

それでは、皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。

次第の7その他になりますけれど、事務局からということで、次回、第4回の会議を8月か9月ごろ、ということで開催させていただきたいと思っております。

冒頭でお話しさせていただいたのですが、本日の議事録につきましては、事務局で作成し、委員の皆様にお送りして内容を確認をしていただいてから公表させていただきます。先ほど申し上げましたように、それぞれの委員の方がどのような意見を述べた、という名前の公表はいたしません。

本日御出席いただきました委員の皆様への委員報酬でございますが、直接口座に払い込みさせていただきます。

それから、これは集まっていただく前に申し上げておくべきことでしたが、前回、昨年度の会議のときに、傍聴の希望がございました。委員の皆様にお伺いする中では、審議の内容等を傍聴されることで、例えばSNSで内容が一人歩きをしてしまうことがあるので望まないということで、昨年度につきましては、傍聴をしていただかないようにということにいたしました。

会議が終わるところで今更ではありますが、内容については公表してまいりますので、傍聴については認めていかない、という方向でよろしいでしょうか。

【異議なし】

では、昨年同様ということで扱わせていただきます。

8 閉会 石井参事兼教育総務課長から閉会の宣言をする。